

詐欺メール

吉田 真人

詐欺メールが闊歩するようになったのはいつ頃からだろうか。我がアドレスにも連日数通、多いときには十通以上が届く。

クレジットカードを騙るもの。「不審な取引があったので再登録が必要だ」と迫るが、自分が所有していないカード会社からのメールで、引つかかりようがない。不思議なことに所有しているカードを騙るメールは来ない。

アマゾンプライム、ETCカード、ヤマト運輸等から、再登録や宛先再確認を促すもの。もともと登録をしておらず、荷物の発送をもしないなので、騙されようがない。詐欺メールを出すなら、十分確認してから行え、と言いたい。

唯一騙されそうになったのは、JR東日本を騙るメールで『『えきねっと』へのログインが一定期間ない登録は自動的に消去されるので、再登録が必要』との由。ページを辿ると、氏名、住所に続いて、クレカの番号、有効期間とセキュリティ番号(3桁)を書けと指示している。ここでこれは詐欺メールだと気づき、発信元を見るとどうも怪しい。危うくカモになるところであった。

発信元アドレスを一通毎に違える等、様々な工夫がしてある。また、海外の発信元も散見される。CN(中国)が多いが、ME(モンテネグロ)などというものもある。

英文メールも来る。「ポルノサイトを見ている映像をばら撒かれなくては、ビットコインで〇ドル相当を払え」と脅迫するもので、ご丁寧にビットコインの入手先も記されている。ポルノサイトを見てみると、スポーツ中継に近いもので、エロスからは全く縁遠い。

バイアグラが手に入る、と勧誘するメールも一時期しつこく着信した。なぜか発信元はNZ(ニュージーランド)。今更バイアグラでもなからうということと、NZからのメールを全て受信拒否する設定をした。回国から重要メールが来ることもあるまい。

世界中で、毎日数えきれない詐欺メールが飛び交っている。これだけのエネルギーに対する報酬も、それなりに、あるいは十分にあるのだろう。

(2024年8月22日)